



国民春闘共闘

第10号

2015年3月16日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

不誠実な回答に断固抗議！

全国統一行動

全国各地でストライキ決起

国民春闘共闘委員会は、3月11日を集中回答指定日に設定し、翌日と翌々日（12日～13日）を春闘最大の山場の統一行動に位置づけ、大幅賃上げとともに、労働法制代改悪反対と戦争する国づくり反対の三課題と、重税反対の課題とを結び、全国各地で、統一ストライキや職場集会、いっせい宣伝行動、デモなど多彩な行動を展開しました。回答指定日翌日には日本医労連、通信労組、JMIU、建交労、全印総連、出版労連、民放労連などでのストライキをはじめ、全国各地で20万人強が行動に立ち上がり、13日の重税反対統一行動を含む2日間の行動全体では約35万人が決起しました。

通信労組 ～全国24都道府県・22支部・81事業所で160人がストに突入～

月額3万円以上、時間額250円の賃上げ、労働条件の改善などを要求に掲げた通信労組は3月12日、NTTグループ各社の「別途回答」「回答日を含め検討」などとする不誠実な「実質ゼロ回答」に断固抗議し、始業時から10時までストライキをたたかい抜きました。全国24都道府県・22支部、81事業所、160人の組合員が決起。



東京・大手町にあるNTT持株会社前での「3・12ストライキ総決起中央

行動」には100人が結集。宇佐美俊一委員長は主催者あいさつで、「NTTグループ各社は、生活改善のための切実な要求に応えないばかりか、まず有額回答を示してストライキを回避しようという誠意すら示さない」と怒りを露にし、「NTTは、ため込んだ内部留保のわずか3.88%、金額で3550億円を労働者に還元するだけで、NTTグループ会社で働くすべての労働者の3万円の賃上げと非正規雇用労働者の時給改善が実現可能だ。企業の社会的責任果たし、満額のベースアップ回答を強く要求する」と述べました。

早朝からのNTT各事業所前宣伝やストライキ集会などには各単産や地域の仲間が激励に駆けつけ全体で591人の参加となりました。

JMIU ～大幅賃上げ、労働法制改悪阻止へ～

3月4日を回答指定日に設定し、翌5日に60を超える支部・分会がストライキに決起したJMIUでは、3月12日を第2次統一行動日とし、東京での22支部・約700人をはじめ、大阪、兵庫、埼玉、神奈川、茨木、千葉などでストライキに突入しました。

東京地本東部地協では、各職場で「労働法制改悪阻止の決議」を採択しストライキに入り、決議文を厚労省に送りました。午後から東京・足立区の千住仲居町公園で行われたストライキ集会には、200人の仲間が参加。冒頭、東部地協の鈴木議長は、7支部で平均8544円の回答を引出し、日本ロールと小坂研究所は上積み2次回答を引き出していることを報告。「今年こそ大幅賃上げの実現で生活を」の要求を握って離さず、粘り強くたたかうこと、労働法制の抜本改悪など安倍暴走政治を止めるための奮闘を呼び掛けました。官・民・地域から多くの仲間が集会に参加し、全労連、葛飾区労連、通信労組、共産党から連帯挨拶。その後、東部地協・山下事務局長が行動提起を行い、労働法制改悪阻止の職場決議、2015年春闘勝利、雇用とくらしを守る集会決議を採択しました。

集会後、参加者は北千住駅前まで30分デモ行進を行い、道行く人々に「大幅賃上げで景気回復を」「労働法制の改悪反対」など、元気にアピールしました。

建交労～安心・安全・安定輸送には、賃上げ、安定した雇用が不可欠～

4万円以上の賃上げ要求を掲げたたかう建交労では、東日本鉄道本部、西日本鉄道本部（京都、奈良）、東京・京王新労組、神奈川・三昭運輸がストライキに突入しました。

京王新労働組合は、大幅賃上げと組合差別の是正、安全な公共交通を求めて始発から終バスまでの終日ストライキに突入し、単産・地域のストライキ支援を含め53名で京王バス小金井営業所前でのストライキ集会を開催しました。京王新労働組合支部の佐々木議長が、前日の団交で賃上げ要求に対し、経営がゼロ回答に終始したことを報告。

建交労の各支部・分会からあいさつでは、「賃金引き下げに労使一致して取り組む連合の組合に抗議する」「長時間過密労働を強い、乗客の命よりも儲けを優先する経営ではなく、社会的責任を取れ」と激励しました。その他、多くの地域や他産業の仲間が支援にかけつけ、東京・三多摩春闘共闘、全教、自治労連、東京春闘共闘などの仲間からも激励・連帯の言葉が寄せられました。

京王新労組の仲間は、集会後に京王電鉄本社への要請を実施。その後、桜ヶ丘営業所での宣伝行動、三多摩の統一ストライキ集会への参加、組合員集会を行い、終日ストライキを貫徹しました。

東京・市ヶ谷駅前で行われた建交労鉄道東京地方本部のストライキ集会には、組合員、支援者を含め110人が結集しました。

建交労鉄道東京地本の永淵委員



長からは「11時から指名ストライキに突入した。JR 東日本の内部留保の3.5%を取り崩せば7万人の社員に4万円の賃上げができる。京浜東北線で脱線事故が起こったが、こういう重大事故の背景には、

要員削減、外部委託化、非正規化がある。安心・安全・安定輸送が重要であり、働くルールの確立が求められている。そのためには、定昇、ベア、安定した雇用は不可欠であり、生活改善のため15春闘をたたかう」と決意が示されました。

分会を代表し、井上副委員長が決意表明を行い、「JR 東日本の清掃を行う環境アクセスという会社では、人手不足で労働強化、パワハラ、雇用不安にさらされている。給与は何年働いても1円も上がらず、今年もゼロ回答だ。契約社員が増大しており、契約社員がいないと成り立たない状況があるが、1年4回更新、5年で雇止め。市ヶ谷駅でも4人が辞めていった。JR 東日本は子会社をつくり、雇止めになった人や正社員試験で不合格だった人を採用するなど、若者を使いまわす状況がある。若者が安心して働き、暮らせる、安全・安心な公共サービスの実現をめざし奮闘する」と力強く語りました。

日本医労連～ベアにこだわり要求実現を！～

「月額4万円以上、時間額250円以上」要求を掲げてたたかう日本医労連では全国で76組合がストライキに立ち上がりました。



東京女子医大では、14年度上半期の赤字を理由に昨年末一時金を0.9ヵ月分削減し、さらに1月には「定期昇給制度の廃止」など給与や賞与規定改悪などを経営が提示。病院前に約100人の組合員と支援の仲間が結集し、13年ぶりとなる大規模な「抗議・決起集会」を決行しました。集会の最後には「民主的な学内運営と、安全・安心の医療・看護を築くための体制づくり」を求めて、全力をあげて奮闘するアピールを確認しました。

また、山形では生活改善要求を無視した回答に8単組580人がストライキに決起。二本松労組では14年ぶり、山形医労組では15年ぶりの半日ストライキを決行しています。昨年ベア回答を引き出した愛知の名南会では、「ベアゼロ」回答にストライキで抗議。千葉の成田赤十字病院労組や埼玉民医連、全日赤さいたま等のストライキ集会には地域や他産業の仲間も駆けつけました。

この他、生協労連・京都生協で低額回答に抗議し、正規・非正規の仲間1200人がストライキに決起しています。全印総連、民放労連、出版労連などの組合からもストライキに立ち上がったとの報告が寄せられています。

また、各単産や地域で職場集会、いっせい宣伝、決起集会、デモ行進など多彩な行動が取り組まれ、日本列島をイメージカラーの黄色で染めました。

まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定